

試合開始・終了のセレモニーについて

釧路サッカー協会審判委員会

昨年度の全国大会から、下記の趣旨に基づいてお互いが握手を交わす入退場を行っており、本大会においても同様の方式で行いたいと考えております。既に地区予選等で経験しているチームもあると思いますが、趣旨を御理解いただき、各チームでの指導をお願い致します。

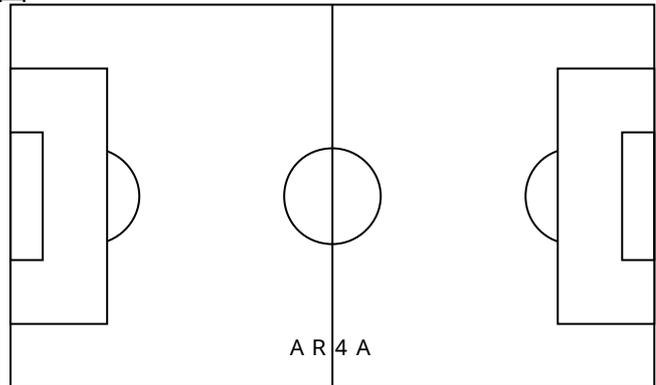
【1 趣旨説明】

お互いの健闘を讃え、絆を深め、今このピッチで試合ができる・できた事への感謝とフェアプレイの精神の尊重との思いより、お互いが握手を交わす入退場を行うことにした。

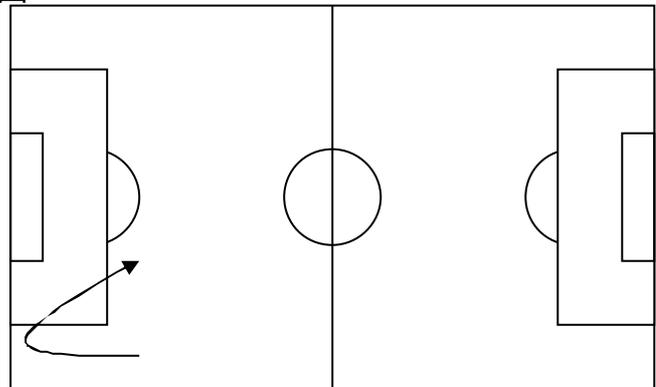
【2 選手・審判の入場方法】

- (1) ゲーム開始7分前になったら、ベンチ前でメンバーチェックを受け、その後A図のように本部側を向いて整列する。
- (2) 両チームが揃ったら、本部・応援席に礼をし、チームからB図のように矢印のように進み、審判・相手チームのメンバーと握手を交わしてピッチに入る。その後、C図のようにチームのメンバーが審判と握手を交わしてピッチに入る。
- (3) この後、両チームのキャプテンは審判の元に残りコイントスを行う。その間、若干の時間があるので、ピッチに入った両チームの選手は、ボールを使ってよいこととする。
コイントス終了後、ボールをベンチに戻し、主審の合図でキックオフとなる。

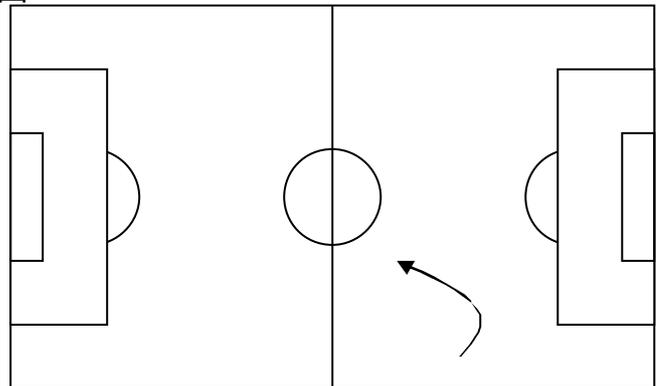
A図



B図



C図



【3 選手の退場方法】

- (1) ゲーム終了後、ハーフウェーラインをはさんで整列し礼をした後、近くの相手と握手を交わしてからベンチへ戻る。